

令和 4 年 3 月

(第 2 回)

京 都 府 教 育 委 員 会 会 議 録

1	開 会	令和 4 年 3 月 10 日	午後 2 時
	閉 会	令和 4 年 3 月 10 日	午後 2 時 35 分

2 出席委員等

橋 本 教 育 長 小 畑 委 員 千 委 員

藤 本 委 員 鈴 鹿 委 員

3 欠席委員

安 岡 委 員

4 出席事務局職員

木上 教育次長

山本 教育監

大路 管理部長

吉村 指導部長

安達 管理部理事

相馬 高校改革推進室長

石澤 総務企画課長

仲井 教職員人事課長

澤浦 学校教育課長

村田 高校教育課長

森 文化財保護課長

芝崎 総務企画課主幹兼係長

岡 総務企画課主査

山崎 総務企画課主任

5 議事の概要

(1) 開会

教育長が開会を宣言

(2) 前会議録の承認

2月分の会議録について、全出席委員異議なく、これを承認した。

(3) 議決事項

ア 第11号議案 府立高校の在り方ビジョンについて

【相馬高校改革推進室長の説明】

○ 本ビジョンについては、昨年3月に策定した「第2期京都府教育振興プラン」の下、国の高校教育改革の趣旨を踏まえ、令和4年度から13年度までの10年間を見据えた新しい時代の京都府の高校教育の目指す方向性や将来像を示すものである。

社会が急激に変化している中、府立高校には、公立高校として生徒一人一人の多様なニーズに対し、その可能性を最大限に伸ばすための選択肢の多様性や地域創生の核としての社会的役割を果たすことが期待されている。

また、府立高校生に対するアンケート調査を通じて、多くの生徒が学習指導と部活動や学校行事等とバランスの良さ、豊かな人間関係づくりなどを高校生活に求めていることが明らかになった。

そうしたことを踏まえ、府立高校ならではの強みである教育活動のバランスの良さ、また、スケールメリットを活かし、学校間での連携のみならず、地域や企業、大学等の高等教育機関等との多岐にわたる連携の強化、さらには、ICTを積極的に活用した新しい学習スタイルや柔軟な教育システムなど、魅力的な学びの充実に向けて目指す方向性を検討してきた。

併せて、その高校づくりに向けて必要となる教育制度等の改革を進めることについても検討してきたところである。

昨年5月に設置した外部有識者による検討会議において、去る1月までに計8回会議を開催し、様々な観点から御意見や御提案をいただいた。

また、中間案については、パブリックコメントを実施し、府民の皆様からも多数の御意見をいただいた。

本教育委員会においても、この間、複数回にわたって報告し、御意見や御示唆をいただきながら策定作業を進め、本日最終案を議案としてお諮りするものである。

次年度以降は、策定されれば、新しいビジョンの下、すべての生徒が夢や希望を持って、未来に向かっていきいきと学ぶことができる新しい府立高校像を実現するため、様々な取組を計画的かつ確実に進めていきたいと考えている。

【質疑応答】

○ なし

〔原案どおり可決〕

イ 第12号議案 京都府教科用図書選定審議会委員の委嘱について【非公開】

〔原案どおり可決〕

ウ 第13号議案 京都府産業教育審議会委員の委嘱について【非公開】

〔原案どおり可決〕

エ 第14号議案 京都府文化財保護審議会委員の委嘱について【非公開】

〔原案どおり可決〕

オ 第15号議案 令和4年度府立学校校長・副校長の人事異動について【非公開】

〔原案どおり可決〕

カ 第16号議案 教育委員会事務局管理職の人事異動について【非公開】

〔原案どおり可決〕

(4) その他

ア 公開しないこととする議決について

(京都府教育委員会委員会会議規則第15条第1項第4号)

議決事項イ～カについて、全出席委員異議なく、公開しないこととすることを議決

(5) 閉会

教育長が閉会を宣告

